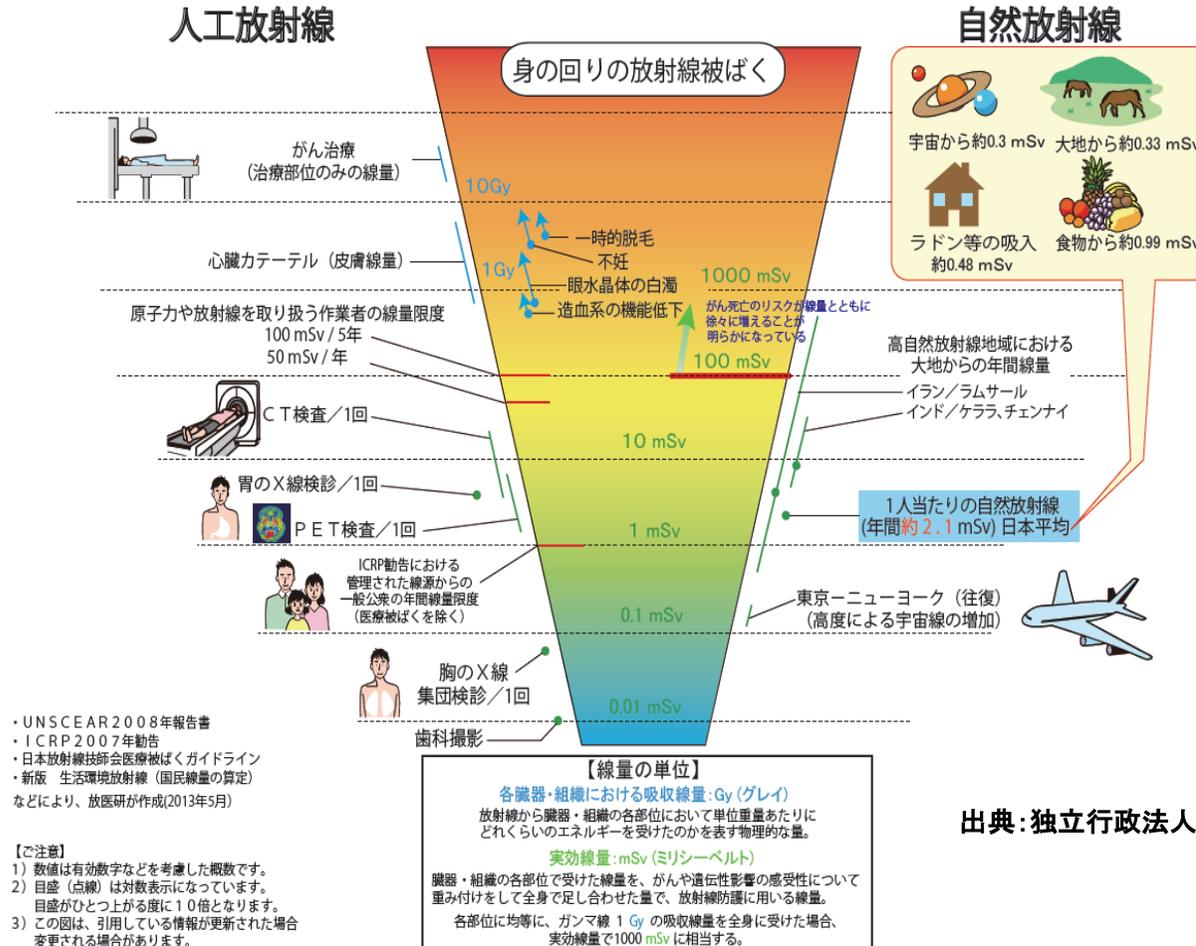


暮らしの中の放射線①

わたしたちが日常生活で受ける放射線として、宇宙から地上に降り注ぐ宇宙線や、大地の岩石などに含まれる放射性物質から中からの放射線があります。(外部線量)

また、食物中の放射性物質の摂取や、空気中含まれるラドンを呼吸によって取り込むことで放射線を受けています。(内部線量)
 このように、わたしたちは昔から放射線に囲まれて生活をしてきています。

放射線被ばくの早見図



暮らしの中の放射線②

●食物中のカリウム40の放射性物質の量(日本)

(単位:ベクレル/kg)



出典: 日本原子力文化振興財団 知っておいていただきたい放射線のはなし

■食品1キログラムあたりの放射性セシウム137の基準値(単位:ベクレル/キログラム)

食品群	各国	日本	米国	EU
乳児用食品		50	1,200	400
牛乳		50		1,000
飲料水		10		1,000
一般食品		100		1,250
食品基準値の考え方		被ばく線量が年間1ミリシーベルト以内になるように設定。 一般食品は50%、牛乳と乳児用食品は100%が汚染されていると仮定して算出。	被ばく線量が年間5ミリシーベルト以内になるように設定。 食品中の30%が汚染されていると仮定して算出。	被ばく線量が年間1ミリシーベルト以内になるように設定。 食品中の10%が汚染されていると仮定して算出。

出典:厚生労働省「食品中の放射性物質の新たな基準値について」他

出典: 日本原子力文化振興財団 原子力総合パンフレット2013